

芦屋町教育委員会会議録

令和7年第7回定例会

日 時 令和7年7月3日（木） 午前10時00分 ～ 午前11時40分

場 所 芦屋町役場3階 課長会議室

「出席委員」	委 員	長 戸 隆 弘
	委 員	井 上 弘 行
	委 員	森 山 真 奈 美
	委 員	佐 伯 慎 也
	教 育 長	三 桝 賢 二

「委員以外の出席者」	学校教育課長	木 本 拓 也
	生涯学習課長	本 石 美 香

「書 記」	学校教育係長	原 田 聡 太
-------	--------	---------

「議事日程」

第1 会期の日程

第2 会議録署名委員の指名

第3 教育長提出議案

第4 協議事項

○教育委員会訪問を終えて

第5 報告・連絡

○令和7年度ハンズ・オン・キッズの参加状況について

○令和7年度リードどぼらんていあキッズの参加状況について

○令和7年度佐野市青少年交流事業の参加状況について

○令和7年度小学生英語活動体験の参加状況について

○7月、8月の行事予定について

第6 その他

「開会宣告」

○教育長 ただいまから令和7年芦屋町教育委員会第7回定例会を開会します。

— 開会宣告 午前10時00分 —

「会議録署名委員」

○教育長 本日の署名委員は、長戸委員と佐伯委員にお願いします。

第3 教育長提出議案

○教育長 本日提案の議案はありません。

第4 協議事項

○教育委員会訪問を終えて

○教育長 今年度の教育委員会訪問が無事に終了しました。訪問では授業参観や校務運営構想、教務運営構想の説明を受け、教職員を交えたグループ協議も行いました。訪問に対するみなさんの感想やご意見を伺いたいと思います。最初に、6月12日に訪問した芦屋中学校についてご意見をお願いします。

○教育委員 先生方がタブレットを活用しようと積極的に取り組んでいる姿が印象的でした。たとえば、音楽の授業ではタブレットを使って生徒それぞれの歌を確認する工夫が見られ、年配の先生方も努力されていることが感じられました。一方、訪問日が定期考査前だったため、生徒同士の意見交換が行われる場面は見られませんでした。この点から授業改善の課題が浮き彫りになった印象です。また、授業の流れ全体を確認できるような訪問が今後の課題と考えます。

○教育委員 先生方がタブレットを道具として十分に使いこなせるようになってきたと私は感じています。生徒たちも落ち着いて授業に取り組んでおり、芦屋中学校生徒の挨拶や姿勢から学校全体が整った印象を受けました。

○教育委員 私も、生徒たちが非常に落ち着いた環境で授業を受けていると感じました。しかし、訪問当日の状況だけで評価することには注意が必要だと思います。その日の様子だけで判断せず、より広い視点から評価する必要があります。

○教育長 私が感じたのは、生徒が主体的に考える場面や協働的な学びの機会が少ないという点です。このような授業形式には改善の余地があります。中学校には、授業改善を具体的に進めていくことを求めていると考えています。特に小学校で見られる、児童同士が考え、学び合うような流れが中学校でも継続されることが重要です。この点については、指導主事とも議論を進めています。

次に、6月20日に訪問した芦屋小学校について意見を伺いたいと思います。

○教育委員 6年生の文章推敲の授業が印象的でした。児童たちはグループで意見を出し合いながら学びを深めており、目標が明確な高品質のタブレット活用授業が行われていたと感じました。さらに、新任や若い先生の授業運営も安定しており、とても好印象を受けました。

○教育委員 6年生の授業は特に質が高く、教室全体が落ち着いており、とても良い雰囲気でした。この授業内容が8月の実践発表につながることを期待し

- ています。
- 教育委員** 私も実践発表において、素晴らしい成果が期待できる授業だったと感じました。
- 教育長** 先生と児童が協力して授業を構築している印象を受けました。個別最適な学びと協働的な学びが自然に融合している様子は、非常に良いモデルだと感じました。また、特別支援学級ではタブレットを活用することで、学習効果の向上が期待されます。この点については、校長に個別最適な学びを目指した支援について話をしました。
- 教育委員** 英語専科の先生がいらっしゃるにもかかわらず、英語の授業を参観できなかったことが残念です。来年はぜひ参観したいと思います。
- 教育長** 来年は英語の授業を参観できるように計画したいと思っています。次に、6月30日に訪問した山鹿小学校についてご意見を伺います。訪問当日校長からは「最低の状況だった」と報告を受けましたが、2日後の学校評議員による参観では「今までで最も良かった」と評価され、英語専科の教員からも「最良の授業だった」との報告がありました。
- 教育委員** 1年生の授業では、いくつかの課題はあるものの、全体的に落ち着いている印象を受けました。一方、5、6年生では一部の児童の授業態度が気になりましたが、タイピングの時間にはしっかり取り組んでいました。今後、授業を分割して指導できる体制が整えば、児童がより深く理解できるようになると思います。
- 教育委員** 特に5年生と6年生の指導には難しさを感じました。先生方は努力されていますが、児童への目配りが十分でない場面も見受けられました。早急に対応を検討する必要があると感じています。
- 教育委員** 悪い状況が目立つと、それが周囲の児童にも影響を及ぼすという点が懸念されます。マンツーマン指導を導入することで、一人一人に成功体験積ませることが重要だと考えます。
- 教育長** 授業指導の徹底が課題となっています。例えば、教材の準備が整わないまま授業を開始することは、早急に改善すべきです。このような環境が続くと、学習習慣に悪影響を及ぼす可能性があります。
- 教育委員** 校長の努力は伝わってきますが、教職員全体で共通理解を基に指導を進める体制が求められます。グループ協議では児童会を設置し、その意見を学校運営に反映させる仕組みについて話し合う姿も見られました。先生方が学校の改善に向けて意欲的に取り組んでいることがわかります。
- 教育長** 学校内が荒れることがあれば、校長がトップダウンで指示を出すこともあります。以前の山鹿小学校ではこの方法が効果的でしたが、今後はそのやり方を一部先生方に委ねる方向性を検討する必要があるかもしれません。
- 教育委員** 他の小学校でも同様に厳しい状況を抱えた児童がいますが、授業を分割して指導する取り組みによって、児童の理解が深まり、学ぶ楽しさを感じています。山鹿小学校でもこのような取り組みが可能であれば、特別な指導を必要とする児童に自信を持たせることができると考えます。

- 教育長** 成功しているモデルを参考にするのは、良い提案ですね。
山鹿小学校には、週 3 日勤務の講師を増員し、生徒指導の補強を図っています。校長には、問題を抱えている学年に教員を重点的に配置するように指示しました。また、指導主事を派遣し、人材配置の見直しを進めることで、高学年を中心に改善を図りたいと考えています。
次に、7 月 1 日に訪問した芦屋東小学校について意見を伺いたいと思います。
- 教育委員** 落ち着いた学びの環境が続いていることは喜ばしく、多くの良い授業が見られました。しかし、5 年生の総合学習における生成 AI の活用には懸念があります。児童が十分に理解できていないように見え、不安を感じました。この授業が文部科学省のガイドラインに基づいて実施されたか疑問です。事前指導の有無や生成 AI の扱い方に関する教育が気になります。生成 AI が作成した文章と児童自身の文章を比較するなど、明確な目的があれば良いのですが、現時点では授業での活用は時期尚早だと考えます。
また、学びに困難を抱える児童への適切な学びの提供の重要性を再認識しました。
- 教育委員** 学力状況調査で全国平均に達していない学年があり、授業態度の改善が学力の定着に寄与することを期待しています。
5 年生の生成 AI を活用した授業では、児童の活用方法や理解が不足しているように感じました。また、生成 AI が誤った情報を提示するリスクを考慮した指導が重要です。
校長は、先生方の ICT 活用への意欲を評価し、児童が調べた資料と生成 AI が作成した資料を比較することで、考える力を育む授業を目指したいと述べていました。校長の積極的な姿勢を評価しつつ、この取り組みを改善しながら方向性を確立する必要があると感じます。
- 教育委員** 1 年生が入学から 3 カ月で落ち着いて授業を受けている姿を見て、担任の指導が行き届いていると感じました。低学年からの適切な指導が良い学級や良い学校づくりにつながるのだと思います。
- 教育委員** 生成 AI を授業で活用する際には、教師が正しい使い方を教えることが重要です。また、児童が誤った情報に対処できる力を育む必要があります。例えば、イラストアニメ風の絵を生成するシンプルな活用法から導入するのが適切だと思います。一方で、文章作成の活用は難易度が高いため、まず教師自身が生成 AI を使いこなせるようになることが大切です。
- 教育長** 1 年生の授業では、午前中にスイミングクラブで水泳学習を行った後にもかかわらず、集中して取り組む姿が見られ非常に感心しました。生成 AI の活用については、文部科学省のガイドラインに基づき、教育委員会が主導的に進めるべきだと考えます。学校現場への AI 導入が加速する中、授業での具体的な活用方法に関する議論は不足しています。そのため、「テストケース」を実施することが現実的だと考えています。今年度

から配置している ICT 教育推進指導員にプランを作成させ、今後の対応策を検討していきたいと思います。

本日いただいたご意見については、「教育委員会でこのような意見が出されました」と各校長に伝達する予定です。

第5 報告・連絡

●令和7年度ハンズ・オン・キッズの参加状況について

○教育長 令和7年度ハンズ・オン・キッズの参加状況について

○生涯学習課長 (令和7年度ハンズ・オン・キッズの参加状況について説明※資料のとおり)

〔概要〕この事業では、小学校4年生から6年生を対象に、定員32人で募集を行ったところ、40人の申し込みがありました。そのため、学校、学年、男女比を基準に抽選を実施し、参加者を決定しました。今年度も女子生徒の参加が多い傾向が見られます。また、6年生の参加者が増えています。

今年度の注目すべき点として、福岡教育大学のボランティアサポートシステムを活用し、大学生ボランティアが新たに指導者として加わったことが挙げられます。6月13日に開講式を行い、28日に初回の活動を実施しました。今後、来年3月14日(土)の開講式まで、年間を通じて多彩な活動が計画されています。活動内容には、初めて取り組むロボットプログラミングや、昨年大雨で中止となった砂像展での体験出展など、新たな学びのメニューが充実しています。

●令和7年度リードぼらんていあキッズの参加状況について

○教育長 令和7年度リードぼらんていあキッズの参加状況について

○生涯学習課長 (令和7年度リードぼらんていあキッズの参加状況について説明※資料のとおり)

〔概要〕この事業では、町内に居住している、または町内の小学校に在学している児童を対象に、定員25人で募集を行いました。そのため、学校や学年、低学年・高学年のバランスを考慮して抽選を行い、参加者を決定しました。

参加者の内訳を見ると、低学年の人気の高い傾向がある一方で、地域のコミュニティを支える人材を育成する目的から、高学年児童の積極的な参加も奨励しています。6月15日に第1回研修の活動結成式と保護者説明会を実施しました。現在は、7月24日(木)に芦屋漁港で予定されている親子体験活動に向けて準備を進めています。この活動は年間を通じて実施され、最後に3月7日(土)の報告会で締めくくる予定です。

●令和7年度佐野市青少年交流事業の参加状況について

○教育長 令和7年度佐野市青少年交流事業の参加状況について

○生涯学習課長（令和7年度佐野市青少年交流事業の参加状況について説明※資料のとおり）

〔概要〕 今年度は芦屋町を会場に、8月3日（日）から5日（火）までの2泊3日の日程で、佐野市からの参加者を迎えて本研修を実施します。各市町の定員は16人で、小学校5年生から中学校2年生を対象に募集を行いました。第一次募集で11人、第二次募集で3人、合計14人が芦屋町から参加予定です。定員には達しませんでした。中学生の参加が全体の半数以上を占めています。この傾向は、前回の佐野市訪問や令和5年度の事業中止を経験した生徒が中学生となり、再び交流へ積極的に参加した結果と考えられます。

7月1日に保護者説明会を実施し、12日（土）から事前研修を開始します。この事業は9月13日（土）の報告会まで続けられます。

本研修では、芦屋ならではの体験型活動が取り入れられており、塩づくりや漁船乗船体験など、地元の協力を得ながら準備が進められています。

●令和7年度小学生英語活動体験の参加状況について

○教育長 令和7年度小学生英語活動体験の参加状況について

○学校教育課長（令和7年度小学生英語活動体験の参加状況について説明※資料のとおり）

〔概要〕 この事業は、7月25日（金）に北九州グローバルゲートウェイで実施されます。対象は小学校5、6年生で、定員は30人とし、各小学校通じて募集したところ、34人の申し込みがありました。定員を超えましたが、施設側の受け入れ体制と児童の送迎車両の手配が可能であることを確認したため、応募者全員が参加できることとなりました。参加者の内訳を見ると、女子の応募がやや多い傾向が見られます。引率教員は各小学校から1人ずつ、計3人が担当します。

●7月、8月の行事予定について

○教育長 7月、8月の行事予定について

○学校教育課長（7月、8月の行事予定について説明 ※資料のとおり）

○生涯学習課長（7月、8月の行事予定について説明 ※資料のとおり）

○教育委員 7月24日（木）に行われる「イングリッシュイベント」とはどんなイベントでしょうか。

○学校教育課長 小学校のALT派遣業務の受託業者から提案を受けて実施するイベントです。小学校3、4年生を対象にALTと一緒に英語活動体験を町民会館で行います。現在、小学校を通じて参加者を募集しています。

第6 その他

●芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書などの配布について

○**学校教育課長** 「芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書」「芦屋町教育大綱推進プランの評価」及び福岡教育大学教授からの意見書をお配りしています。これにつきましては、来月開催する総合教育会議での議題となりますので、よろしくお願いいたします。

○**教育長** これについての意見は、総合教育会議の中で出していただきたいと思います。総合教育会議で充実した協議ができますよう、ご協力をお願いいたします。

●**芦屋町人権講演会の開催について**

○**生涯学習課長** 7月4日（金）午後6時30分から、あしや夢リアホールにて人権講演会を行います。ぜひお越しいただけたらと思います。

「閉会宣告」

8月の定例会は8月1日（金）午前9時から開催します。

9月の定例会は9月4日（木）午前10時から開催します。

— 閉会宣告 午前11時40分 —

会議録署名人

教 育 委 員

教 育 委 員

学校教育課長